



2019年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月15日

上場会社名 株式会社くろがね工作所 上場取引所 東
 コード番号 7997 URL http://www.kurogane-kks.co.jp
 代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)神足 尚孝
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理本部長 (氏名)森 吉武 (TEL) 06(6538)1010
 四半期報告書提出予定日 2019年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年11月期第3四半期の連結業績(2018年12月1日~2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|-------|-------|------|---|------|---|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2019年11月期第3四半期 | 7,138 | △11.1 | △160 | — | △176 | — | △197 | — |
| 2018年11月期第3四半期 | 8,025 | 2.4 | △27 | — | △45 | — | 32 | △70.8 |

(注) 包括利益 2019年11月期第3四半期 △336百万円 (—%) 2018年11月期第3四半期 △65百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| 2019年11月期第3四半期 | 円 銭 △115 80 | 円 銭 — |
| 2018年11月期第3四半期 | 18 84 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|---------------|--------------|-----------|
| 2019年11月期第3四半期 | 百万円 10,185 | 百万円 3,848 | % 37.7 |
| 2018年11月期 | 10,862 | 4,202 | 38.6 |

(参考) 自己資本 2019年11月期第3四半期 3,839百万円 2018年11月期 4,194百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|----------|----------|----------|--------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2018年11月期 | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 — | 円 銭 10 00 | 円 銭 10 00 |
| 2019年11月期 | — | — | — | — | — |
| 2019年11月期(予想) | — | — | — | 10 00 | 10 00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年11月期の連結業績予想(2018年12月1日~2019年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|------|------|---|------|---|-----------------|---|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 | |
| 通期 | 10,550 | △4.7 | 60 | — | 40 | — | 25 | — | 14 | 67 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 2019年11月期3Q | 1,857,113株 | 2018年11月期 | 1,857,113株 |
| 2019年11月期3Q | 153,495株 | 2018年11月期 | 153,495株 |
| 2019年11月期3Q | 1,703,618株 | 2018年11月期3Q | 1,703,642株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|------|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | P. 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | P. 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | P. 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | P. 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | P. 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | P. 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | P. 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | P. 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | P. 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | P. 8 |
| (セグメント情報等) | P. 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米中貿易摩擦を発端とした世界経済への不透明感が増し、株式・為替市場でも不安定な動きが出ている一方、国内での人件費や物流費、原材料費等の高騰が続くなど、依然として先行き不透明な状況で推移をしました。

このような状況のもと、当社グループはオフィスのICT化によるオフィス環境整備への対応、働き方改革を目指すオフィスリノベーション案件、医療施設、研究施設、地方自治体等のオフィス周辺市場等への積極的な提案営業、家具・建具・インテリア、ICT、空調・クリーン機器を包含するトータルソリューションの提案営業を推進するとともに、生産工程における変種・変量生産体制の一層の強化、生産性の向上、コスト削減等を推進しました。

しかしながら、当第3四半期連結累計期間は、去年同期と比較して、金融機関、大手企業の大口案件の減少、医療福祉施設の整備計画が一段落するなか、売上・損益面においては厳しい状況となりました。なお、下半期の売上見込みにつきましては、いずれの事業セグメントにおいても第4四半期連結会計期間に偏る見込みであります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は71億38百万円（前年同四半期比11.1%減）、営業損失は1億60百万円（前年同四半期は営業損失27百万円）、経常損失は1億76百万円（前年同四半期は経常損失45百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億97百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益32百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[家具関連]

(事務用家具部門)

首都圏、中部圏、関西圏での移転案件、働き方改革に伴うオフィスの生産性向上ニーズに対応したオフィスのリノベーション提案、およびオフィス・ワークスペースの環境改善を企図したIAQ（インテリア・エア・クオリティ）の改良を絡めたトータルソリューション営業などを積極的に活動しましたが、前述のとおり、金融機関、大手企業の大口案件の減少が影響し、売上高は前年同四半期を下回りました。

(家庭用家具部門)

当部門の主力製品である学習家具の商内は、ライフスタイルの変化、就学児童数の減少により、総需要台数が減少する厳しい市場環境が続くなか、新しい学習スタイルやリビングルームでの在宅勤務にも対応した商品の投入、大型量販店向け仕様のオリジナル学習家具の投入による受注拡大などに注力いたしましたが、売上高は前年同四半期を下回りました。

その結果、家具関連の連結売上高は、47億91百万円（前年同四半期比15.9%減）、セグメント利益（営業利益）は65百万円（前年同四半期比74.1%減）となりました。

[建築付帯設備機器]

(建築付帯設備他部門)

全国的に医療・福祉施設の建替えやリニューアル案件の整備計画が一段落する中、主力製品である懸垂式引戸『アキュドアユニット』の売上高は大学病院、公立病院等の大口案件などにより、前年同四半期比で増収となりました。また病院向け医療ガスアウトレット／情報端末内蔵式設備『メディウォード・ユニット』についても新シリーズの投入や東日本地区での大口案件の売上があり、売上高は前年同四半期を上回りました。

(クリーン機器他設備機器部門)

前期より新たに取り組みました空調機OEM事業が今期に入り順調に推移しましたが、主力製品である病院向けクリーン機器の完工物件の減少が影響し、売上高は前年同四半期を下回りました。

その結果、建築付帯設備機器の売上高は23億47百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は9百万円（前年同四半期はセグメント損失58百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況について

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は101億85百万円となり、前連結会計年度末に比べて6億67百万円減少いたしました。この主な要因は現金及び預金が2億63百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2億70百万円、商品及び製品が1億13百万円、仕掛品が3億44百万円、投資有価証券が1億10百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は63億37百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億22百万円減少いたしました。この主な要因は長短借入金が1億21百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が3億61百万円、過年度決算訂正関連費用引当金が65百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は38億48百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億54百万円減少いたしました。この主な要因は利益剰余金が2億14百万円、その他有価証券評価差額金が1億40百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績及び今後の見通しを勘案した結果、現時点では2019年7月16日に公表しました業績予想からの変更はありません。

上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後の経済情勢など様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年11月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日) |
|----------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 788,423 | 1,052,015 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,484,951 | 1,214,409 |
| 商品及び製品 | 1,287,206 | 1,174,021 |
| 仕掛品 | 1,146,672 | 802,509 |
| 原材料及び貯蔵品 | 189,753 | 172,722 |
| その他 | 89,082 | 76,116 |
| 貸倒引当金 | △218 | △225 |
| 流動資産合計 | 4,985,872 | 4,491,570 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,372,797 | 1,366,364 |
| 土地 | 2,375,281 | 2,375,281 |
| その他(純額) | 529,791 | 499,932 |
| 有形固定資産合計 | 4,277,870 | 4,241,578 |
| 無形固定資産 | 52,870 | 43,999 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,206,773 | 1,096,014 |
| その他 | 341,343 | 314,781 |
| 貸倒引当金 | △2,570 | △2,433 |
| 投資その他の資産合計 | 1,545,546 | 1,408,362 |
| 固定資産合計 | 5,876,287 | 5,693,940 |
| 資産合計 | 10,862,160 | 10,185,511 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,859,276 | 1,497,788 |
| 短期借入金 | 1,246,500 | 1,703,800 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 873,632 | 775,788 |
| 未払法人税等 | 23,709 | 5,057 |
| 賞与引当金 | - | 15,479 |
| 受注損失引当金 | - | 8,000 |
| 過年度決算訂正関連費用引当金 | 65,000 | - |
| その他 | 544,917 | 497,494 |
| 流動負債合計 | 4,613,035 | 4,503,408 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,058,396 | 820,824 |
| リース債務 | 148,077 | 150,332 |
| 退職給付に係る負債 | 481,305 | 503,982 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 352,883 | 352,883 |
| その他 | 5,850 | 5,600 |
| 固定負債合計 | 2,046,513 | 1,833,623 |
| 負債合計 | 6,659,548 | 6,337,031 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2018年11月30日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年8月31日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,998,456 | 2,998,456 |
| 利益剰余金 | 575,646 | 361,322 |
| 自己株式 | △157,882 | △157,882 |
| 株主資本合計 | 3,416,220 | 3,201,896 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 4,830 | △135,863 |
| 繰延ヘッジ損益 | 381 | △312 |
| 土地再評価差額金 | 773,483 | 773,483 |
| その他の包括利益累計額合計 | 778,695 | 637,308 |
| 非支配株主持分 | 7,695 | 9,274 |
| 純資産合計 | 4,202,611 | 3,848,479 |
| 負債純資産合計 | 10,862,160 | 10,185,511 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2017年12月1日 至2018年8月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年8月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 8,025,623 | 7,138,514 |
| 売上原価 | 6,493,437 | 5,755,704 |
| 売上総利益 | 1,532,186 | 1,382,809 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,559,206 | 1,542,852 |
| 営業損失(△) | △27,020 | △160,042 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 40 | 18 |
| 受取配当金 | 22,140 | 20,819 |
| 持分法による投資利益 | 21,116 | 4,396 |
| 仕入割引 | 7,953 | 7,058 |
| 経営指導料収入 | 10,833 | 10,833 |
| その他 | 2,673 | 7,363 |
| 営業外収益合計 | 64,757 | 50,489 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 36,543 | 28,195 |
| 支払手数料 | 38,899 | 24,303 |
| その他 | 7,795 | 14,868 |
| 営業外費用合計 | 83,238 | 67,367 |
| 経常損失(△) | △45,501 | △176,920 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 387 | - |
| 投資有価証券売却益 | 85,092 | 26,998 |
| 特別利益合計 | 85,480 | 26,998 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 2,625 |
| 積立保険解約損 | - | 2,045 |
| 特別損失合計 | 0 | 4,670 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | 39,978 | △154,593 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 19,855 | 14,200 |
| 法人税等調整額 | △12,894 | 26,515 |
| 法人税等合計 | 6,961 | 40,715 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 33,017 | △195,308 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 921 | 1,978 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 32,096 | △197,287 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2017年12月1日 至 2018年8月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年8月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 33,017 | △195,308 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △97,124 | △140,408 |
| 繰延ヘッジ損益 | △1,353 | △693 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △15 | △285 |
| その他の包括利益合計 | △98,493 | △141,387 |
| 四半期包括利益 | △65,475 | △336,696 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △66,397 | △338,674 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 921 | 1,978 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2018年2月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 42,591 | 25.00 | 2017年11月30日 | 2018年2月28日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|-------------|------------|-------|
| 2019年2月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 17,036 | 10.00 | 2018年11月30日 | 2019年2月28日 | 利益剰余金 |

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2017年12月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-------------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | 家具関連 | 建築付帯 設備機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 5,698,587 | 2,327,035 | 8,025,623 | — | 8,025,623 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 5,698,587 | 2,327,035 | 8,025,623 | — | 8,025,623 |
| セグメント利益又は セグメント損失(△) | 251,637 | △58,457 | 193,180 | △220,200 | △27,020 |

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△220,200千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2 |
|-----------------------|-----------|--------------|-----------|--------------|----------------------------|
| | 家具関連 | 建築付帯 設備機器 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,791,045 | 2,347,469 | 7,138,514 | — | 7,138,514 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 4,791,045 | 2,347,469 | 7,138,514 | — | 7,138,514 |
| セグメント利益 | 65,053 | 9,869 | 74,922 | △234,965 | △160,042 |

(注) 1 セグメント利益の調整額△234,965千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。